

# にいがた花絵プロジェクト

田園資源 + 交流

・にいがた花絵プロジェクト実行委員会

## <取り組みの概要>

- ◆ 春に咲いた後、球根育成のために摘み取られてしまうチューリップ<sup>®</sup>（※）の花を用いて、市民ボランティア等と一緒に大小様々な花絵を製作し展示。巨大花絵イベントの実施。
- ◆ チューリップの摘み取り体験や花絵づくりを通して、コミュニケーションの輪を広げる活動を実施。
- ◆ 生産者さんから直接チューリップの切り花を仕入れ、12月・3月に限定販売している。

※チューリップの球根に養分を与えて育てるために、球根農家さんは咲いた花を摘み取りを行い、花を土に還すことが通例であった。

## <取り組みの効果>

- ◆ 球根育成のために摘み取られるチューリップを有効活用することで、新潟市の花き産業の活性化に寄与できた。
- ◆ 様々な年代の人、企業、行政、色々な人がチューリップを軸に連携し、「チューリップコミュニケーション」が広がり、人と人との交流が生まれている。花絵に関わる人々はみんな笑顔になれる。
- ◆ G7新潟農業大臣会合（2016年）および G20新潟農業大臣会合（2019年）においては、それぞれ市内小学生や企業とともに製作した花絵を展示し、「花のまち にいがた」を国内外にPRできた。

## < にいがた花絵プロジェクト実行委員会 >

- ◆ 概要：新潟市中央区の人情横丁に事務所を構える。新潟市の花である「チューリップ」の摘み取られた花の有効活用のため、生産者・支援者とともに巨大花絵を製作する取り組みを続けている。

- ◆ ホームページ：<http://www.niigata-hanae.jp>



## <取り組みに至った経緯>

- ◆ 新潟市は緑が少なく潤いが足りない街だと感じていた。また、チューリップの球根農家さんが、球根育成のためにキレイに咲いた花を摘み取ってしまうことをとても勿体ないと感じていた。そんな中、オランダで行われている花絵の話を目にして、農家さん・企業・地域を巻き込んだ花絵づくりプロジェクトをスタートさせた。

## <取り組み際に生じた課題と対応方法>

- ◆ 発足当初は花摘みについての農家さんの理解が得られず苦労したが、必死に交渉し、出来上がった巨大花絵を見てもらい、納得していただくことができた。
- ◆ 最近は球根農家の減少のため、花絵を製作するのに必要な分の花が調達できないことがある。

## <今後の展望>

- ◆ 「人と人との和と輪が広がっていきますように」「新潟県・新潟市の花に関心を持ってくれますように」「街が潤い、観光にもつながりますように」これら願いをこめて、チューリップコミュニケーションを広げていきたい。

## <活用した支援施策>

- ◆ チューリップの花絵制作事業補助金（新潟市補助金）※2005年度(平成17年度)～2018年度(平成30年度)まで
- ◆ G20みんなのプロジェクト応援成事業補助金（新潟市補助金）

